

## VIII 科学館

### 1 沿革

当館の前身は、昭和30年全国に先駆けて岐阜公園内に建設された児童科学館であり、市制施行90周年と国際児童年の記念事業で、移転、拡充し、名称を少年科学センターと改称して昭和55年5月1日に開館しました。その後、昭和63年の岐阜市制100年記念事業の一つとしてプラネタリウム建設及び展示室の増築を行い、同年11月3日に岐阜市科学館として開館しました。また、平成4年3月に、ハイビジョンシステムを設置し、平成9年3月に2階建展示室を増築し、平成10年3月、ギフチョウをテーマとする展示室「ギフチョウランド」を設置しました。

その後、老朽化した展示装置の大幅更新とサイエンスショーを実施するスーパー理科室設置を二本柱としたサイエンスミュージアム整備事業を実施し、平成28年5月にリニューアルオープンしました。

令和2年3月2日から令和2年5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館しました。

### 2 科学館の概要

#### (1) 施設

所在地	岐阜市本荘3456-41
構造規模	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	8,486.58㎡
建築面積	2,389.33㎡
建築延面積	4,559.32㎡

部門別	展示サービス	プラネタリウム	天文台	教育普及	事務管理	研究	保管	共通
面積(㎡)	1860.84	1182.28	59.29	319.08	350.44	124.19	54.76	608.44
構成比(%)	40.8	25.9	1.3	7	7.7	2.7	1.2	13.4

#### (2) 展示品

「体で実感、心が感動、科学館」をテーマに、自然、現象、技術、地球、宇宙の5つの展示室に、岐阜の自然や壮大な宇宙が投影された大型スクリーン、科学の基礎となる原理・原則が学べる装置、先進技術の応用等、体験型の展示を89点設置しています。また、特別展や児童生徒の科学くふう展示等も行っています。

展示構成	点数
1 自然 ~ゆたかさ~	13
2 現象 ~おどろき~	22
3 技術 ~よろこび~	12
4 地球 ~つながり~	8
5 宇宙 ~ひろがり~	20
スーパー理科室	3
ホール他	11

### (3) 観覧料

区 分		プラネタリウム・展示室	展示室のみ
個人	小人（3歳から中学生まで）	200円	100円
	大人	620円	310円
団体	小人（3歳から中学生まで）	120円	60円
	大人	500円	250円

※ 次の方は無料

- ・ 市内の70歳以上の方
- ・ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている方、難病指定の特定医療費の支給認定を受けた方及びその介護の方1人
- ・ 市内中学生以下の方（共催特別展を除く）
- ・ 家庭の日に入館する中学生以下の方及び同伴する家族（高校生以上）の方（共催特別展を除く）

### (4) プラネタリウム投映

#### ■ 季節に関係のない団体学習投映実績（令和2年度）

対 象	投 映 作 品
幼 児 ・ 小 学 校 低 学 年 児 童	ちびまる子ちゃん～それでも地球は回っている～
小 学 校 3 年 生 児 童	太陽とかげの動き
小 学 校 4 年 生 児 童	星空を見上げよう
小 学 校 中 学 年 児 童	スーホの白い馬
小 学 校 6 年 生 児 童	月と太陽
中 学 校 生 徒	宇宙どこまであるの？物語 よもやま学園天文部 地球・月・太陽 身近な天体たち

#### ■ 季節ごとの一般投映実績（令和2年度）

月 日	投 映 作 品
令和2年4月1日（水）～令和2年4月5日（日）	はなかつぱ はなさけ！パッカ～ん宇宙旅行
令和2年4月1日（水）～令和2年5月24日（日）	銀河鉄道の夜
令和2年4月1日（水）～令和2年5月24日（日）	クレヨンしんちゃん 星空と学校の七不思議だぞ
令和2年4月1日（水）～令和2年5月24日（日）	平原綾香 いのちの星の詩 SPECIAL EDITION
令和2年9月1日（火）～令和3年3月31日（水）	名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道
令和2年9月1日（火）～令和3年3月31日（水）	1秒ちょっと前の月

※令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館、プラネタリウム投映9月から再開

### ■ 科学講座

- ① 親子科学教室（全3回、対象：小学1～4年生、定員：午前・午後各30組）
- ② パソコン教室（全8回、対象：小学4年生～中学校3年生、午前・午後各10又は15組）
- ③ 少年少女発明クラブ（年10回、対象：小学5～中学1年生、定員：各クラス35人又は12人）
- ④ 岐阜科学塾（小学生クラス対象：5・6年生、中学生クラス対象：1年生～3年生）
- ⑤ サッカーロボット製作教室（対象：小学5年生～中学生、定員：32人）
- ⑥ サイエンス工房（定員：各講座25人、親子は25組）
- ⑦ 大人のためのサイエンス工房（対象：成人、定員：各講座25人）
- ⑧ 家庭科学講座（対象：成人、定員：40人）

### ■ サイエンスショー

毎月テーマを定め、来館者を対象に実験等を行い、科学への関心を高めます。



サイエンスショー

### ■ ぎふサイエンスフェスティバル

広く市民の科学に関する興味関心を高め、レベルアップを図るとともに理科好きな児童生徒に、更なる科学体験を提供できるよう、講演会及び科学実験工作等のブース出展などのサイエンスフェスティバルを開催し、科学教育の振興を図っています。

#### ① 科学実験・工作・展示

市内高校や大学の協力をもとに理科実験工作ブースを設けるとともに、市内高校の研究発表成果の展示を行います。※令和2年度中止



サイエンスフェスティバル講演会

#### ② 講演会

令和2年度は、名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター長・教授天野 浩氏を招き、講演を実施しました。

### ■ 天文講演会

外部の講師を招き、プラネタリウムを活用して、天文に関するテーマで講演会を実施しています。  
※令和2年度中止

### ■ 天体観望会

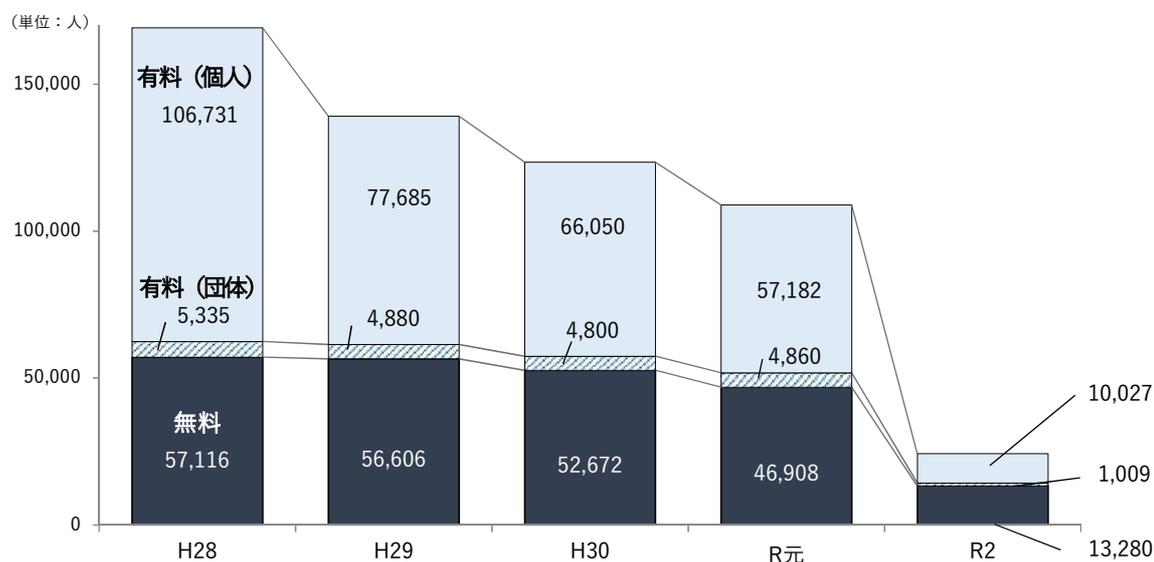
- ① 星を見る会（毎月第2土曜日開催・科学館屋上天文台他）※10月から再開
- ② 屋間の星を見る会（土曜日、日曜日、祝日開催・科学館屋上天文台）※令和2年度中止
- ③ ぎふスターウォッチング（駅前天体観望会）（毎月第4土曜日開催・JR岐阜駅前）※令和2年度中止
- ④ みんなの森の天体観望会（特別スターウォッチング）（6月16日、12月1日開催・メディアコスモス）※令和2年度中止

## 科学館観覧者数の推移

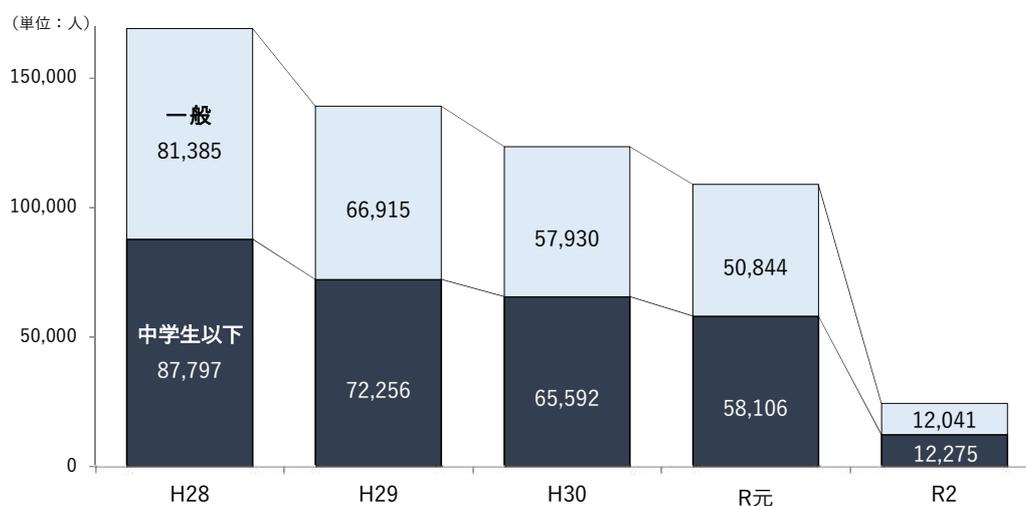
(単位：人)

	H28	H29	H30	R元	R2
有料（個人）	106,731	77,685	66,050	57,182	10,027
有料（団体）	5,335	4,880	4,800	4,860	1,009
有料合計	112,066	82,565	70,850	62,042	11,036
無料	57,116	56,606	52,672	46,908	13,280
観覧者合計	169,182	139,171	123,522	108,950	24,316
（上記入場者のうち）一般	81,385	66,915	57,930	50,844	12,041
（ ）中学生以下	87,797	72,256	65,592	58,106	12,275

### (1) 区別別観覧者数の推移



### (2) 利用者層別観覧者数の推移



## 科学館講座等延参加者数の推移

(単位：人)

		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
科学講座 (申込制)	科学教室	1,339	1,306	1,364	1,400	342
	夏期サイエンス工房	186	176	187	190	中止
	サイエンス工房	733	724	767	600	244
	少年少女発明クラブ	888	982	1,013	861	300
	ロボカップジュニア岐阜	96	93	72	90	59
	ロボカップジュニア岐阜大会	32	31	24	30	19
	岐阜科学塾	629	522	559	585	中止
	大人のためのサイエンス工房 ※1	21	34	37	10	20
	家庭科学講座 ※1	144	201	208	104	75
サイエンスショー ※2		31,827	29,205	29,625	28,916	7,612
夏休み科学相談		73	67	80	86	22
ぎふサイエンスフェスティバル ※2		3,400	3,450	2,814	3,050	290
星を見る会 ※2		739	822	695	711	112
昼間の星を見る会 ※2		8,845	7,466	6,519	7,174	0
ぎふスターウォッチング ※2		1,512	1,763	1,673	1,414	0
みんなの森の天体観望会 ※2		739	964	530	177	0

主に子どもを対象に事業を行っています。ただし、※1 は成人向け、※2 は一般に開放して実施しています。